

文教厚生常任委員会

視察研修で学びました

静岡県南伊豆町・松崎町

7月9日～10日、先進的な取り組みを行っている自治体の事例を調査研究するため、静岡県南伊豆町と松崎町を訪問し視察研修を行いました。

南伊豆町では、杉並区・静岡県との協働により誕生した特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」が、自治体間連携による福祉施設整備の全国初のモデルとして注目されている取り組みでした。都市部の課題と地方の資源を結びつけ、入居者の生活の質向上と地域活性化を同時に実現する取り組みであり、人口減少社会における新たな福祉政策の方向性を示すものであり、100床のうち杉並区から30～40人が入所し、10人単位のユニットケアを導入。「伊豆の縁側」と呼ばれる広い廊下を備えた開放的な施設で、外国人職員を含む

人材確保にも力を入れている点が特徴でした。

また、松崎町では、総合計画に「思いやり（コンパッション）」を基軸として掲げ、地域ブランドの発信や関係人口の拡大を進めていました。地域資源を活かしたシティプロモーションや、町民・来訪者・移住希望者をつなぐ仕組みづくりは、人口減少や地域力低下に対する新しいアプローチとして高く評価されています。

今回の視察を通じ、福祉政策、自治体間連携、地域ブランド戦略、関係人口創出の実践を学び、今後の地域政策の立案や委員会活動に活かしていきたいと思っています。



議会広報常任委員会

議会広報研修で学びました

9月24日、前橋市元総社町にある群馬県市町村会館で「町村議会広報研修会」を受講してきました。講師は一般社団法人日本経営協会のおおたに邦郎氏で、毎日放送のラジオ報道部長・宣伝部長などを歴任されてきた、まさにメディア界のプロ目線での深い内容の研修であったと感じています。

「議会活動への理解を深める広報誌」にするため「真の広報力を身に付ける」をテーマとし、休憩時間なしの2時間連続の研修でしたが、内容が興味深いものであったため、全員が食い入るように聞いていました。

大谷講師がさかんに繰り返していたことが2つありました。

1点目は「読んでもらう広報誌」から「見てもらう広報誌」ということ、もう1点は「紙媒体を

いつまで続けますか」ということです。

こまごまとした文字で伝えるより、写真や動画と共に短いコメントで伝える方が、分かりやすく確実に伝わることは間違いありません。

近い将来、電子媒体を使用した広報誌というのが主流になるだろうことも想像できます。

そんな流れを視野に入れ、皆さんに馴染みのあるSNSを使用し、理解を深める広報誌作りを探究していきたいと考えております。



お便りコーナー

クイズの回答とともに、多くのご意見・ご要望が寄せられました。

以前も意見を出しましたが、ごみ袋の「小」可燃物と燃えないごみをぜひお願いしたいです。

町のマスコットキャラクターがないのは残念です。注目されている町なので、一般公募で募集した方が良いと思います。

私が住んでいる地域でも 70 歳前後の高齢者が増えてきました。高齢者に向けて公共交通機関の整備をお願いします。

大久保地区に幼児が遊べる公園がありません。集落センターの遊具も撤去されましたし、公園の整備を早く進めてほしいです。公園に行くために町外へ出ている現状を知ってほしいです。

集落センターなどにあった遊具が撤去され、子どもが遊ぶ場所がどんどん少なくなっていると感じます。緑地運動公園に大型遊具を設置すれば、子育て世帯が多く訪れ、物産館などの利用も増えるのではと思います。子ども達が安心して遊べる場所が吉岡町にも増えたらいいと思います。

議会だよりいつも読んでいます。とても読みやすく、私たちの住む町で今どんな議論がされているのか、分かりやすく知ることができました。

吉岡町も独自の地域通貨を始めて欲しいです。名前は「よし払い」をお願いします。

生活道路が法改正で 30 キロ走行となりましたが、どこが生活道路なのか分かりにくいので標識を立てて欲しい。

「紙マーク」のごみを分別して出す場合、自治会の資源ごみ回収に出すことになりましたが、車がないので回収場所まで持っていくのが大変です。ごみステーションに出せれば、分別も進むと思います。

通学路や車道の段差、穴が気になります。小学生の子どもがつまずき転んでけがをしたこともあります。道路の整備を少しずつでも進めてもらえるとありがたいです。

よしおかクイズ NO.153

- 問1 一般質問は何人行ったでしょうか。
A. 8人 B. 10人 C. 11人
- 問2 令和8年度第3回定例会の会期は何日でしょうか。
A. 9日 B. 13日 C. 16日
- 問3 議会広報常任委員会の委員は何人でしょうか。
A. 5人 B. 6人 C. 7人
- 問4 (任意) 皆さんの声を聴かせてください。ご意見やご要望などをお寄せください。「お便りコーナー」で紹介します。

応募方法

- ・はがきに答えの記号(例1-A)、住所、氏名、年齢、職業の記入または二次元コードから応募してください。
- ※個人情報情報は商品の発送のみに使用します。

応募先

〒370-3692
吉岡町大字下野田560番地 吉岡町議会事務局

応募期限 12月1日消印有効

賞品 正解者の中から抽選で5人に、図書カード1,000円分をプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回の正解は1-B、2-C、3-Cでした。



▲応募はこちら

皆さんの傍聴を お待ちしております

12月定例会 9時30分から

- 1日(火) 開会日
3日(木)・4日(金) 一般質問
11日(金) 閉会日

※日程は、変更になる場合があります。
※町議会ホームページで生中継および録画配信も行っています。

編集後記

今年は、台風の発生が多い夏～秋になりました。加えて熊本県では大きな地震被害があり、さらに全国各地で豪雨・洪水の被害を受けた地域も多く、自然災害の怖さを、改めて思い知らされました。ようやく陽気も落ち着き、今では短くなったと言われる「秋」シーズン真っ盛りです。読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋、行楽の秋、全て満喫できたら最高ですね。次回の発行も楽しみにお待ちください。(秋山 光浩)

議会広報常任委員会

委員長 小林 静弥
副委員長 山崎 守人
委員 宮内 正晴 秋山 光浩
大井 俊一 藤多ゆかり
春山 和久

発行 吉岡町議会
責任者 議長 富岡 大志
住所 群馬県北群馬郡吉岡町大字
下野田560
TEL 0279-54-3111